

三重県

みえ
歴史街道
ウォーキング
マップ

熊野脇道

KUMANOWAKIMICHI



熊野脇道

熊野脇道の概要

熊野坐神社（熊野本宮）、熊野速玉神社（熊野新宮）、熊野那智神社の熊野三山に続く道は、大きく分けて大阪・京都方面からの紀路、伊勢方面からの伊勢路がある。

平安時代後期に出された歌謡集「梁塵秘抄」に、「熊野に参るには 紀路と伊勢路のどれ近し、どれ遠し 広大慈悲の道なれば 紀路も伊勢路も遠からず」とある。三重県内で熊野街道と呼ばれる道はこの「伊勢路」であり、伊勢神宮から玉城町、大紀町を経て紀北町、尾鷲市、熊野市…と続くルートが知られている。しかし、これとは別に玉城町田丸で本街道から分岐し、度会町を経て南伊勢町の熊野灘沿岸の各浦々をたどり、紀北町で再び本街道に結ぶ古道があり、熊野脇道と呼ばれている。

道沿いには、古代に天照大神の鎮座されるよき地を求め、大和から伊勢まで巡り歩いた倭姫命やまとひめのみことにまつわる伝説が数多く残っている。度会町の和井野は、

倭姫命が一之瀬川沿いにこの地を通ったとき、ふと心ざびしくなり「侘野」と名づけたことに由来する。度会町と南伊勢町との境にある能見坂（野見坂とも呼ばれる）も、倭姫命が「能く見える坂」として名づけたという。南伊勢町赤崎は、倭姫命が休息し一夜を過ごされるうちに東の空が明けたため地名を赤崎と呼ぶようになったと伝わり、その際、腰かけたという岩が伝承されている。

南伊勢町内の脇道は、リアス式海岸の美しい入り江をいくつも眺めながらゆく。小方竈、栃木竈など「竈」の付く集落があるが、これらは、古くには塩を焼く権利をもっていた集落の名残りである。

脇道は、柵橋竈から姫越山を経て大紀町錦へ。そして国道260号の二色トンネルを抜けて紀北町へ至り、熊野街道に合流する。このほか、度会町から宮川と支流の藤川沿いをたどり、滝原宮で本街道に合流する脇道もある。

熊野脇道は、他の街道に比べて道標や常夜燈も少なく、古い道として山の中に消えかけているところも多い。

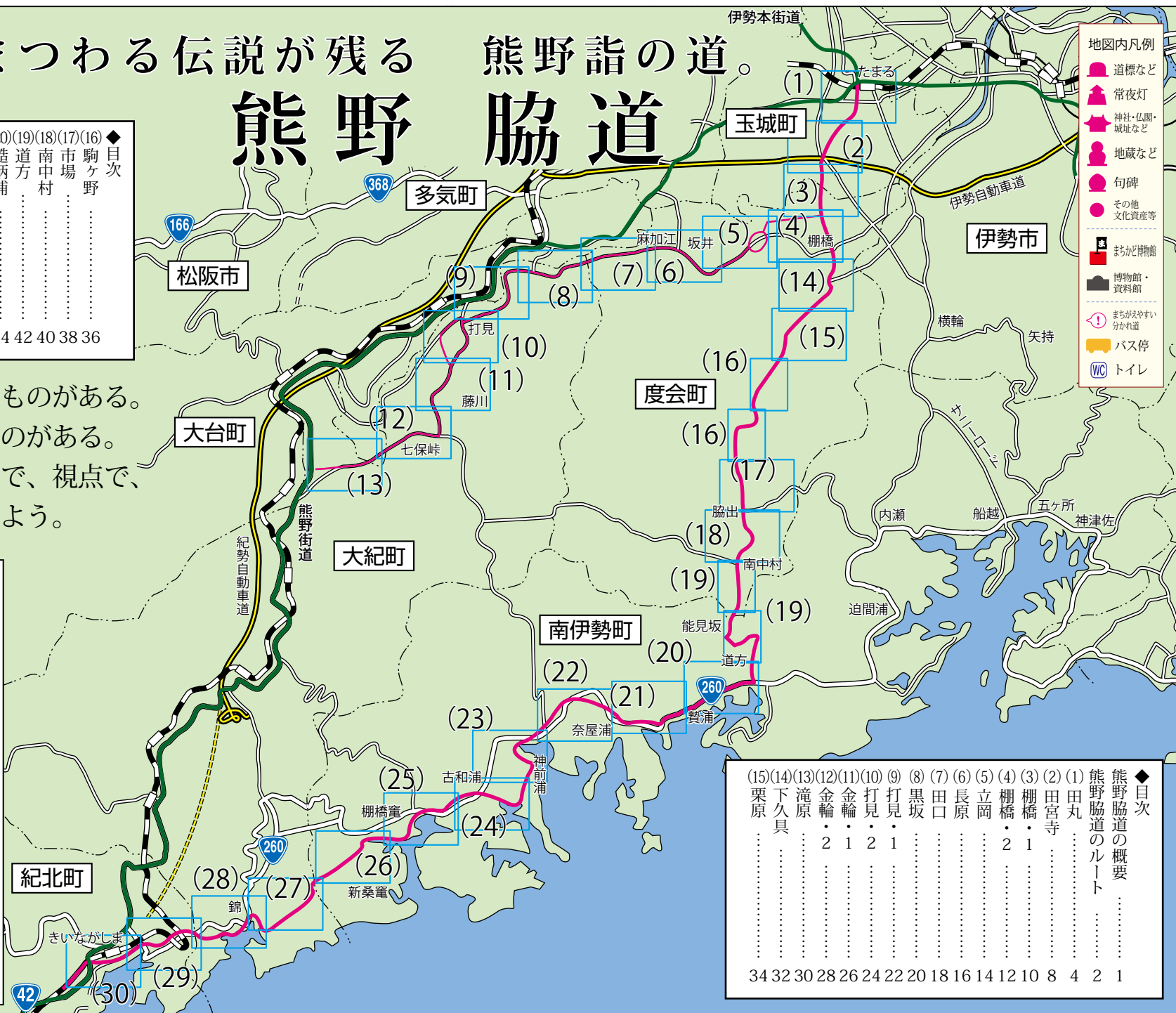
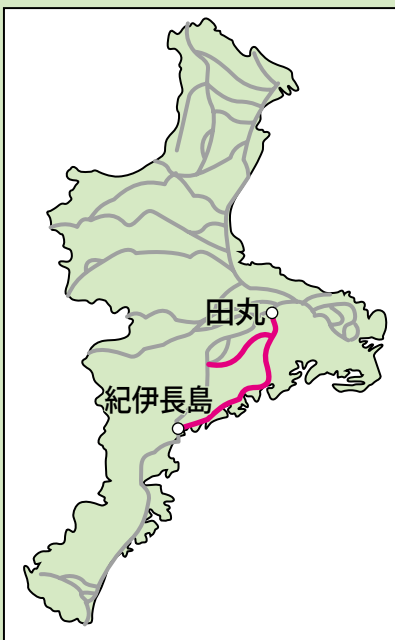


倭姫命にまつわる伝説が残る 熊野

熊野詣の道 熊野脇道

(30)	(29)	(28)	(27)	(26)	(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	◆
東長島	東長島	錦	錦	新桑	古和	方座	神前	河内	賛	槌	道方	南中	市	駒ケ	目次
2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
68	66	64	62	60	58	56	52	50	46	44	42	40	38	36	

歩く速さで見えてくるものがある。
歩くからこそ出会うものがある。
いにしへの旅人の速さで、視点で、
歴史の道をたどってみよう。



(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	◆
栗原	下久	滝原	金輪	金輪	打見	打見	黒坂	田口	長原	立岡	棚橋	棚橋	田宮	田丸	熊野脇道の概要
2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	
34	32	30	28	26	24	22	20	18	16	14	12	10	8	4	2 1

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



1 田丸神社 (天神山)
参道石段前に高さ2mの石燈籠がある。天保5年(1834)のもの。



2 富士見門
玉城町指定文化財

熊野街道



4 くまのみのちの道標
かつて玉城郵便局の向かい側に、熊野街道と参宮街道の追分の道標が建っていた。現在は玉城中学校校庭に保管されている。



5 村山龍平記念館



8 くまのみのちの道標
「紀州街道」「さんぐう道」と刻まれている。新しく立て直されている。



7 赤門久野屋敷跡



3 田丸城跡
北畠親房、顕信が南朝義軍の拠点として城を築いたことに始まり、後に織田信雄(のぶかつ)が三層の天守閣を備えた城を築いた。明治維新の際に廃城となり、今は石積みだけが残る。県指定史跡。



6 旧三の丸御殿奥書院

伊勢本街道

約700 m

約300 m



9 孔子廟記念碑



10 小林政太郎生家

熊野街道



15 祠
大得寺の門を入ってすぐ左にある。



19 石碑
安政5年(1858)のもの。「草木國土悉皆成佛」「一天四海皆……」「真……」「安政五年戊辰四月……」と刻まれている。百四番屋敷の境内にある。



18 祠
「秋山自雲具神」と刻んだ石碑を祀っている。百四番屋敷の境内にある。



14 石碑
大得寺の門前に「田丸藩主菩提寺」「國光大師准廿五靈場 第十七番」と刻まれた石碑が二つ並んで立つ。



13 大得寺
元和5年(1619)、田丸領は和歌山藩領となり、和歌山藩家老の久野氏が代々の田丸城主となった。



12 御鳥見役屋敷跡
田丸城内の鷹場(御鳥見役屋敷)を寛永年間(1624～1644)城外のこの地に移した。



17 百四番屋敷
街道がクランク状に曲がる所にある、古い寺のような屋敷。境内には稲荷の祠の他、石碑などがある。



16 稲荷の祠
百四番屋敷の境内にある。



21 板五輪
青面金剛の祠の前。レリーフ状の五輪塔のほか、小さな五輪塔の残欠がいくつかある。



20 青面金剛
川の手前、道の左側。六臂の青面金剛の台座に「見える言わざる 聞かざる」が刻まれている。

この部分は
6・7 ページを
ご覧ください

(1) 田丸・A (玉城町田丸～勝田)

(1) 田丸・B (玉城町田丸～勝田)

この部分は
4・5 ページを
ご覧ください



8 浜塚山
廣泰寺への道標からまっすぐ延びる道の正面にある小さな山。別名をソロバン山ともいい、熊野権現を祀って参宮客を引き止めたという。



9 浜塚団地に残る街道
浜塚団地の家々の西側に地道の街道が残る。団地に登ってくる道は山が削られてなくなっている。また、団地を下る道は途中から草木が生い茂り、たどることができない。



10 鴨下神社
神宮125社

伊勢本街道

熊野街道

田丸駅

JR 参宮線



4 道標
文政7年(1824)のもの。「右 くまのかうやよし乃」「左 たな・志摩・道」「神照山廣泰寺 是より十五丁」「左 さんぐうミチ」「文政七年」と刻まれている大きな道標。



3 石碑
嘉永7年(1854)のもの。豊富地蔵大菩薩の右側。嘉永七年の路が読める。



2 地蔵
豊富地蔵大菩薩の左側。



1 豊富地蔵大菩薩
外城田川を渡った所にあり、新しいコンクリート製の祠に祀られている。オレンジ色の石に刻まれた地蔵。傍らに「南無豊富地蔵大菩薩」と書いた標柱が立つ。



5 道標地蔵
街道が、浜塚山にあたったところにある。「左 廣泰寺」「中 □ミチ」「右 満ミチ」と刻まれている。四角柱の道標だが、正面に地蔵が彫られている。(地蔵のように他の菩薩か何かのようにも見える)「中 □ミチ」の文字は小さく、後から彫り加えられたように見える。



6 石仏
昭和4年(1929)のもの。浜塚山の墓地にある。文字を刻んだ石柱を柱にした祠に祀られている。台座に「施主 池森大吉二十八才」「昭和四年」とある。



7 地蔵
寛政7年(1630)のもの。石仏の右隣。寛政七年の年号が読みとれる。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがしやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(2)田宮寺 (玉城町田宮寺～宮古)



1 勝田大池
久寿元年(1154)の築造と伝わるが、本格的な用水池となったのは幕末。文久元年(1861)に大規模な工事がなされ、開田事業が進められた。



3 宝篋印塔
田宮寺の境内にある。



2 田宮寺
奈良時代に行基が神宮法薬寺として草創したと伝えられ、弘法大師を中興の祖と仰ぐ真言宗無本寺。かつては内宮称宜荒木田氏の氏寺として伊勢神宮との関係も深かった。北畠氏、愛洲氏や紀伊徳川氏などからも厚い信仰を集めた。本尊の十一面観音立像は国指定重要文化財。伊勢西国三十三所観音霊場第4番札所。



5 子安地蔵尊
堂に納められている。田宮寺の境内にある。



4 地蔵
等身大よりも大きな地蔵。足下に小さな地蔵や五輪塔の残欠がある。田宮寺の境内にある。



7 御船殿跡
田宮寺境内にある。享保14年(1729)の第48回遷宮まで、内宮の遷宮ごとに取り替えられた古い御船代を田宮寺境内の御船殿に奉安したという。



6 田宮寺神社
田宮寺の隣。田宮寺が内宮称宜荒木田氏の氏寺として伊勢神宮との関係も深かったことを物語る。境内に御船殿跡がある。

65

約 700 m

8

9 10

12

11

13

14



8 奈良波良神社
天照大神を伊勢にお連れした倭姫命が定めた社といわれ、「延喜式」に見える格式ある神社。祭神はナラの木の原野であったこのあたりの産土神といわれ、近くには古墳群がある。神宮125社。



10 山口誓子句碑



9 廣泰寺
一休和尚と双壁と言われた玄虎和尚が開山。紀州徳川家の庇護を受けて大いに栄えた。山門は、玉城町指定文化財。



11 地蔵
廣泰寺の門前にある。



13 上宮古神社



14 琴平神社
廣泰寺の近く。



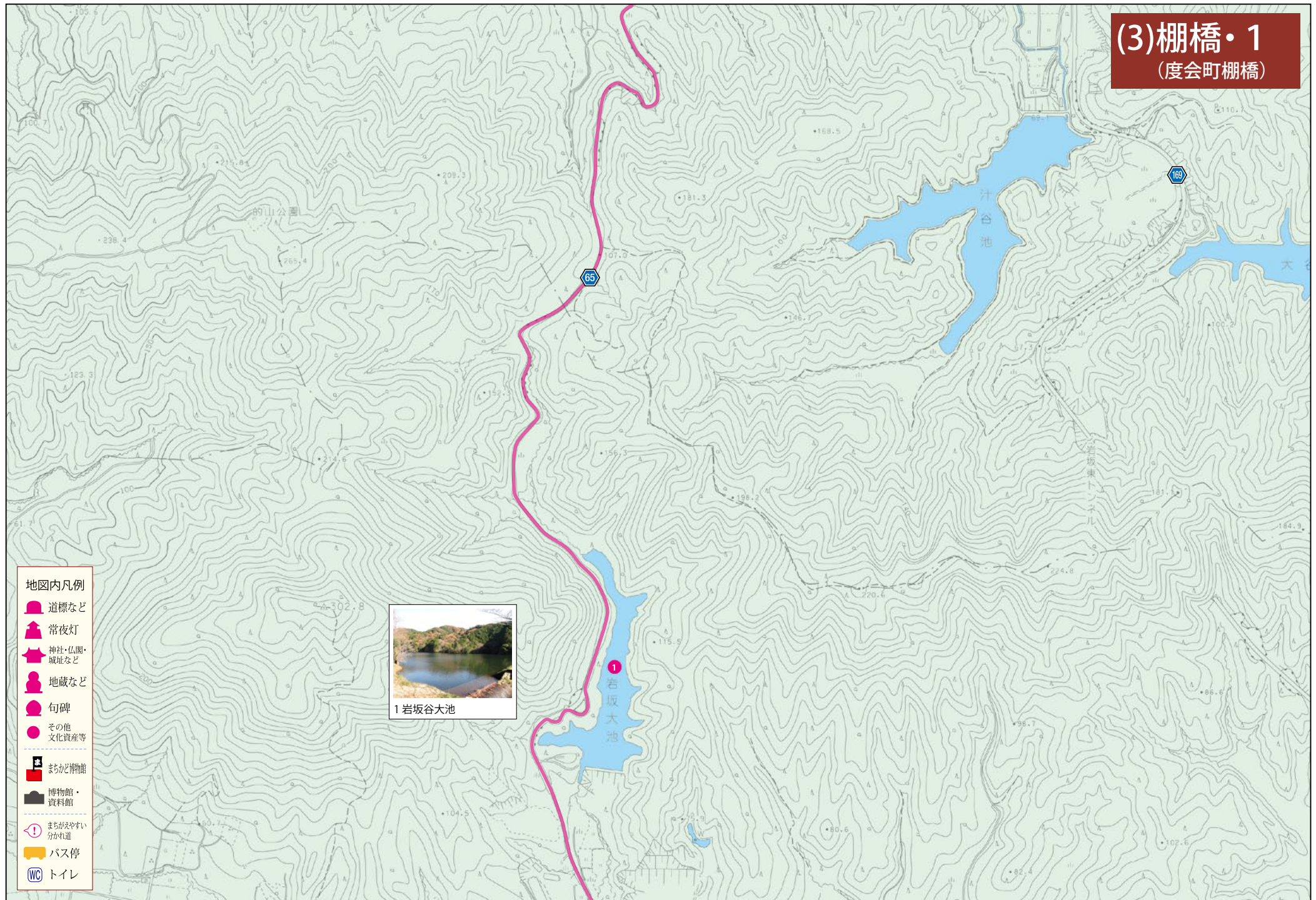
12 青面金剛
廣泰寺の近く。コンクリート製の祠の中。

伊勢自動車道

65

169

(3)棚橋・1 (度会町棚橋)



(4)棚橋・2 (度会町棚橋～上久具)



1 広大な田畑
岩坂の下は、かつての神領大橋御園、後の宮山神宮蓮華寺領で、宮川を挟んで、広大な田畑が見渡される。



5 庭園
蓮華寺にある。



3 蓮華寺
京都醍醐寺から来住した大中臣氏出身の通海によって中興された。通海は動願によって、文永・弘安の役の際に異国降伏の祈りを行ったという。蓮華寺の末寺は20カ寺を数え、志摩の国まで往園を持っていた。



6 土塁
蓮華寺にある。ほとんど崩れている。



4 五輪塔
蓮華寺にあり、通海を供養するとされる。



2 蓮華寺城跡
南北朝時代、砦を備えていたとされる。蓮華寺の裏山。



7 蓮華寺経塚
総高2.4メートルで巨石が3段に積まれている。



8 内城田神社



12 森添遺跡



11 久具都比賣神社
天照大神を伊勢にお連れした倭姫命が定めたといわれる神社。宮川のほとりにある。神宮125社。



13 道標



10 棚橋船渡の地蔵
天保3年(1831)のもの。街道は、内城田大橋のすぐ上流あたりから船で宮川を渡った。船渡の上には、川を向いて地蔵が立っている。現在の度会町郷土資料館の裏から溝づたいに川へ降りたところ。



9 度会町郷土資料館

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

約1200 m

約300 m

P32

(5)立岡

(度会町棚橋～鮎川)



9 鮎川を通る街道



8 薬師堂
立岡簡易水道浄水場横にある。



5 立岡城跡
街道右手。約200メートルの小高い丘の上。「城山」と呼ばれる山林となっている。



11 道標
鮎川の経塚の地蔵のそば。渡し場への道を案内している。



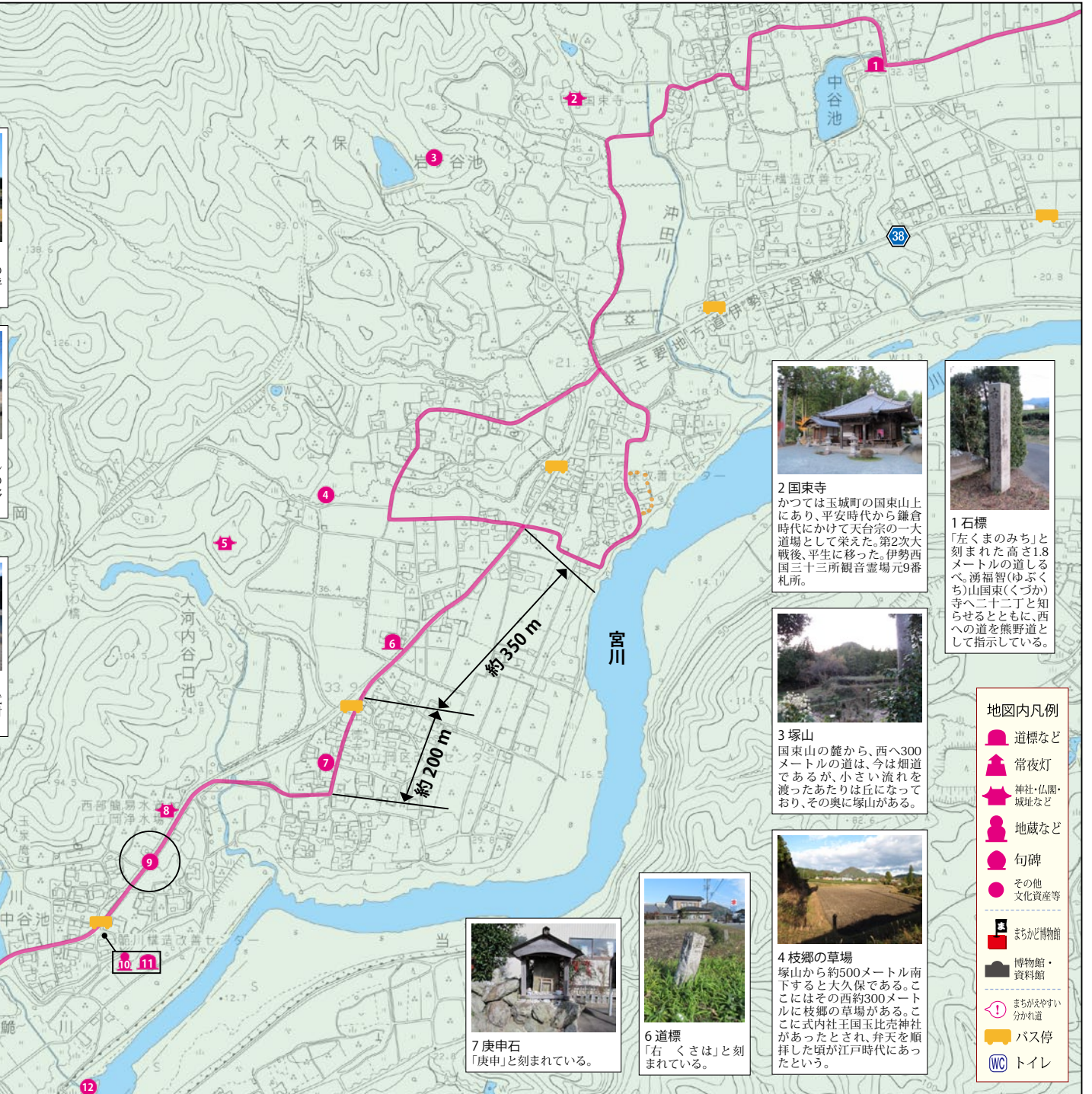
10 鮎川の経塚の地蔵
薬師堂から約200メートルのところ。この塚は、戦後の改修で約5メートル南へ移転した。



13 庚申石
鮎川大橋バス停横。



12 南鮎川村への渡し場
鮎川から分村して江戸時代に開墾し入植した南鮎川村への渡し場。



2 国東寺
かつては玉城町の国東山にあり、平安時代から鎌倉時代にかけて天台宗の一大道場として栄えた。第2次大戦後、平生に移った。伊勢西国三十三所観音霊場元9番札所。



1 石標
「左くまのみち」と刻まれた高さ1.8メートルの道しるべ。湧福智(ゆぶち)山国東(くづか)寺へ二十二丁と知らせるとともに、西への道を熊野道として指示している。



3 塚山
国東山の麓から、西へ300メートルの道は、今は畑道であるが、小さい流れを渡ったあたりは丘になっており、その奥に塚山がある。



4 枝郷の草場
塚山から約500メートル南下すると大久保である。ここにはその西約300メートルに枝郷の草場がある。ここに式内社玉国玉比売神社があったとされ、弁天を順拝した頃が江戸時代にあったという。



7 庚申石
「庚申」と刻まれている。

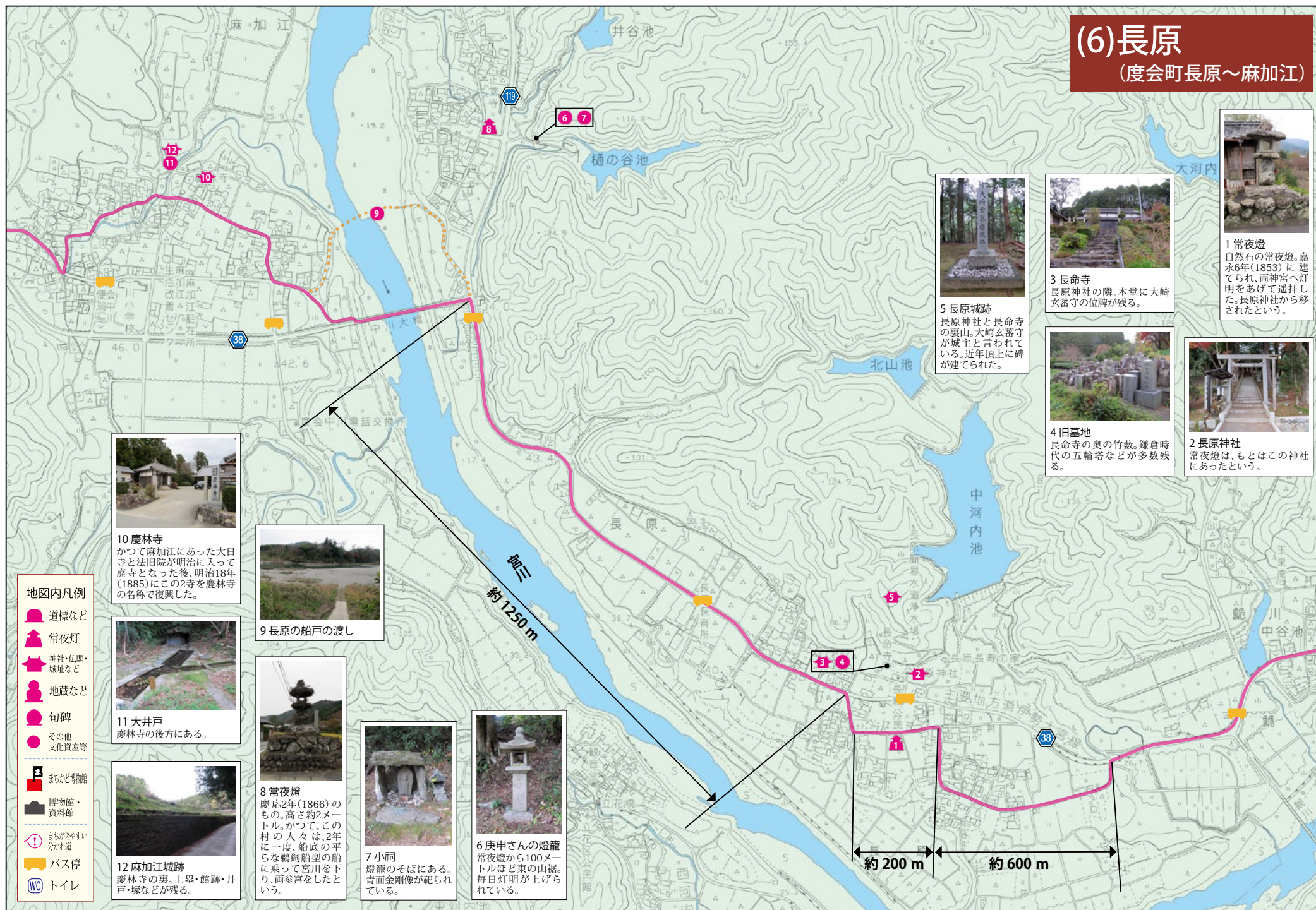


6 道標
「右 くさは」と刻まれている。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちなか博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(6)長原 (度会町長原～麻加江)



1 常夜燈
自然石の常夜燈。嘉永6年(1853)に建てられ、両神宮へ灯明をあげて還拝した。長原神社から移されたという。



2 長原神社
常夜燈は、もとはこの神社にあったという。



4 旧墓地
長命寺の奥の竹藪。鎌倉時代の五輪塔などが多数残る。



2 長原神社
常夜燈は、もとはこの神社にあったという。



5 長原城跡
長原神社と長命寺の裏山。大崎玄蕃守が城主と言われている。近年頂上に碑が建てられた。



9 長原の船戸の渡し



8 常夜燈
慶応2年(1866)のもの。高さ約2メートル。かつて、この村の人々は、2年に一度、船底の平らな鵜飼船型の船に乗って宮川を下り、両神宮をしたという。



7 小祠
燈籠のそばにある。青面金剛像が祀られている。



6 庚申さんの燈籠
常夜燈から100メートルほど東の山裾。毎日灯明が上げられている。



10 慶林寺
かつて麻加江にあった大日寺と法旧院が明治に入ってから廃寺となった後、明治18年(1885)にこの2寺を慶林寺の名称で復興した。



11 大井戸
慶林寺の後方にある。



12 麻加江城跡
慶林寺の裏。土塁・館跡・井戸・塚などが残る。

(7)田口 (度会町田口)

熊野街道

宮川



7 田口を行く脇道



6 小祠
妙色庵の階段の途中にある。



5 常夜燈
妙色庵の階段の途中にある。



4 妙色庵
現在の妙色寺。創建は江戸前期ごろと見られる。常夜燈、地蔵などがある。



2 妙色庵跡



3 地蔵
妙色庵跡に地蔵が残されている。



1 井戸
宮川のほとりに井戸(泉)が湧き出ており、弘法大師の伝説がある。年中水温が変わらないため、冬は暖かく夏は冷たく感じる。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



11 船渡し場からの渡し場道
保育所前から人家の裏をまわり、表通りに出て久保橋付近で出会う。



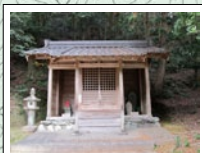
9 七保神社
境内に石塔が3基残る。



10 お葉附いちよう
鹿寺跡の七保小学校校庭にある。県指定天然記念物。



13 地藏
観音堂から約300メートル先の道ばた山際。



12 観音堂
農協倉庫から250メートル、野原新田に通じる道ばたに建つ。損傷の多い十一面観音や庚申塔3基、地藏、石灯、役行者像などがある。



4 板碑
神光寺の境内。



3 鰐口
元禄4年(1691)のもの。神光寺の本堂入り口。黒坂村寄進。



6 庚申



5 百番供養塔
文化13年(1816)のもの。神光寺の境内。



2 神光寺
曹洞宗神光寺。道から少し離れた左側の小高い山の中腹。本堂には、かつて多くの入々の信仰を集めた目洗薬師や、十二神将、役行者像等のすぐれた仏像がある。



1 渡河点
県道伊勢大宮線と田口の渡し場道の分岐点から右側の注連指川(桃イミ川とも言い、百七五三川とも書く)の岸を河原に下り、現在の上小川橋の下をくぐり、上流100メートルのところが渡河点となり、橋近くの番倉の横に上がってくる。

(8)黒坂

(大紀町黒坂～野原)

約1200m

(9)打見・1 (大紀町打見)



4 稲荷社
八柱神社境内にある。



3 八柱神社
渡し場近くにある。境内に稲荷社、石経塔、手洗鉢等が残る。



2 伊良子清白の碑



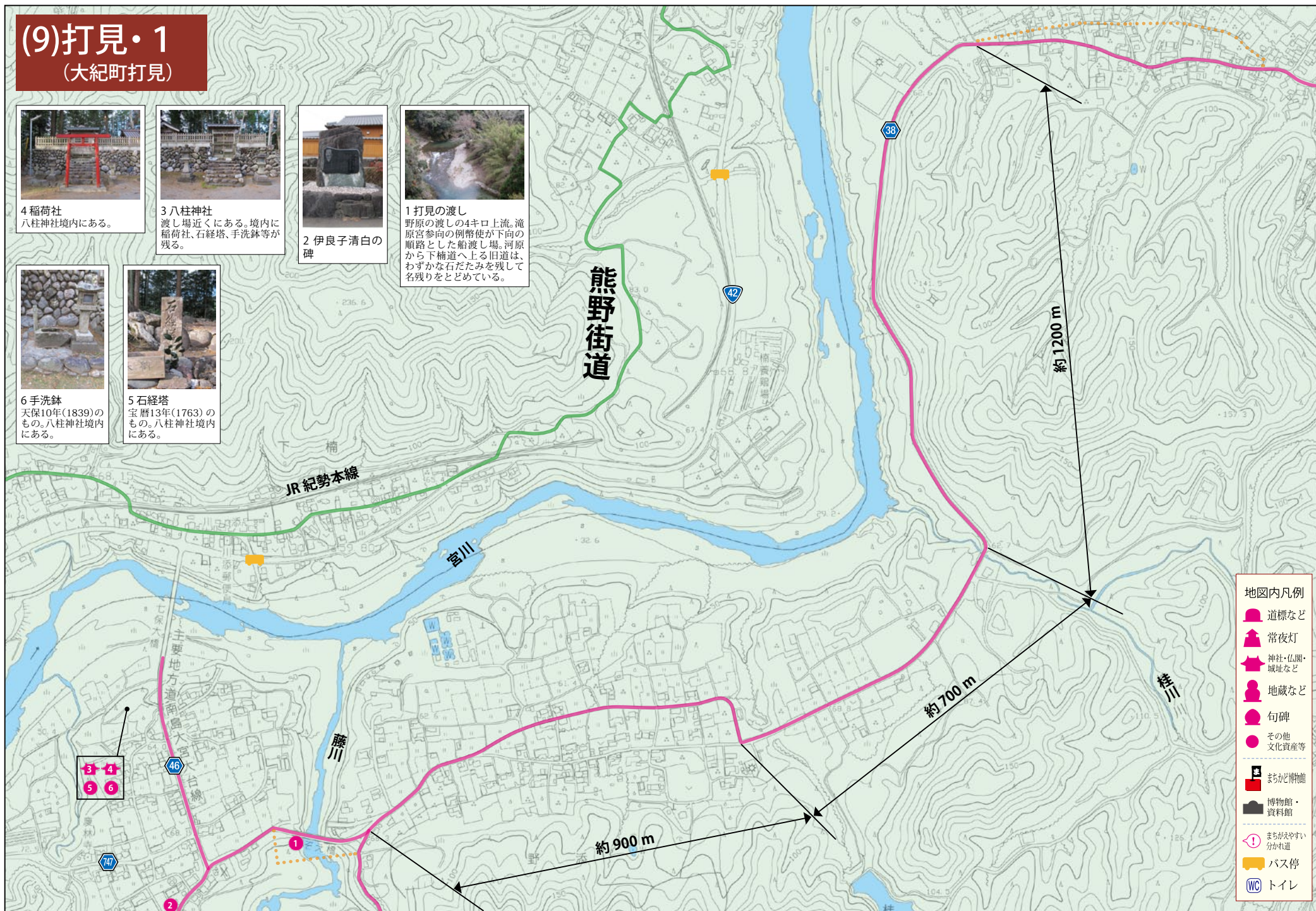
1 打見の渡し
野原の渡しの4キロ上流。滝原宮参向の例幣使が下向の順路とした船渡し場。河原から下楠道へ上る旧道は、わずかな石だたみを残して名残りをとどめている。



6 手洗鉢
天保10年(1839)のもの。八柱神社境内にある。



5 石経塔
宝暦13年(1763)のもの。八柱神社境内にある。





2 北村七左衛門の
碑
慶林寺境内にある。



1 慶林寺
正徳3年(1713)に創建した。
本堂は明治36年(1903)の
建立。



3 魚取神社
渡し場の上流80メートルに頭首口堰堤が設けられ、古くからの魚取り行事が中絶して近くの伊勢電子工業前に立祀された。



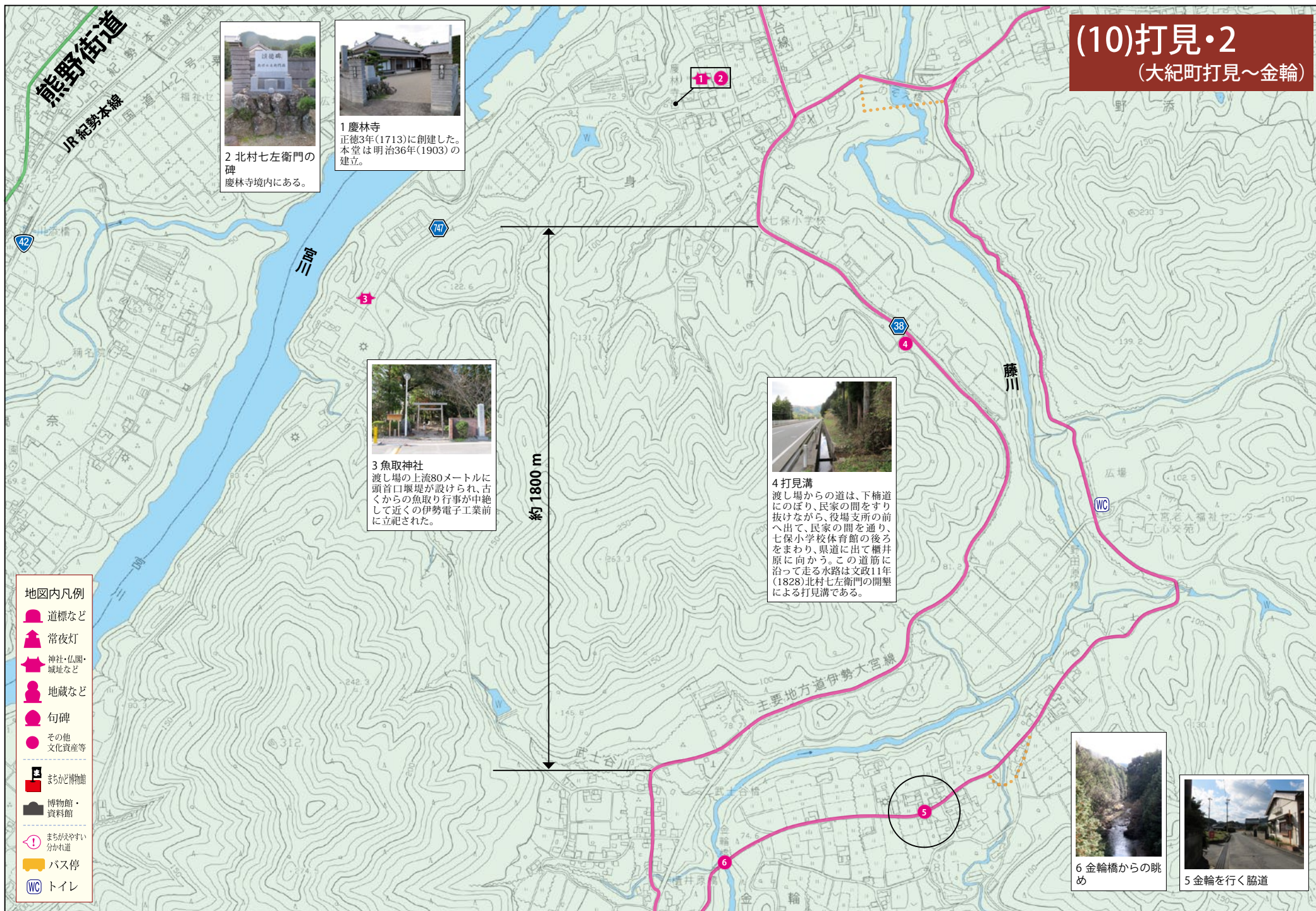
4打見溝
渡し場からの道は、下楠道にのぼり、民家の間をすり抜けながら、役場支所の前へ出て、民家の間を通り、七保小学校体育館の後ろをまわり、県道に出て櫃井原に向かう。この道筋に沿って走る水路は文政11年(1828)北村七左衛門の開墾による打見溝である。



6 金輪橋からの眺め



5 金輪を行く脇道



(11)金輪・1 (大紀町金輪)



3 古里道
公民館横からは山越え神原
(このはら)に通じる古里道
があり、改装されている。



5 道標
寛文13年(1673)のもの。鷹
谷の一本松の傍らにある。
一時、旧七保第二小学校玄
関前に移された。「右山みち
左くまの」と刻まれた自然
石の道標。



4 瀬戸越の道
墓地の前から右へ入る。



6 細い旧道
一本松跡のある雄木山に残
る。およそ600メートルほど
で、峠下の旧道(現県道)に
でる。



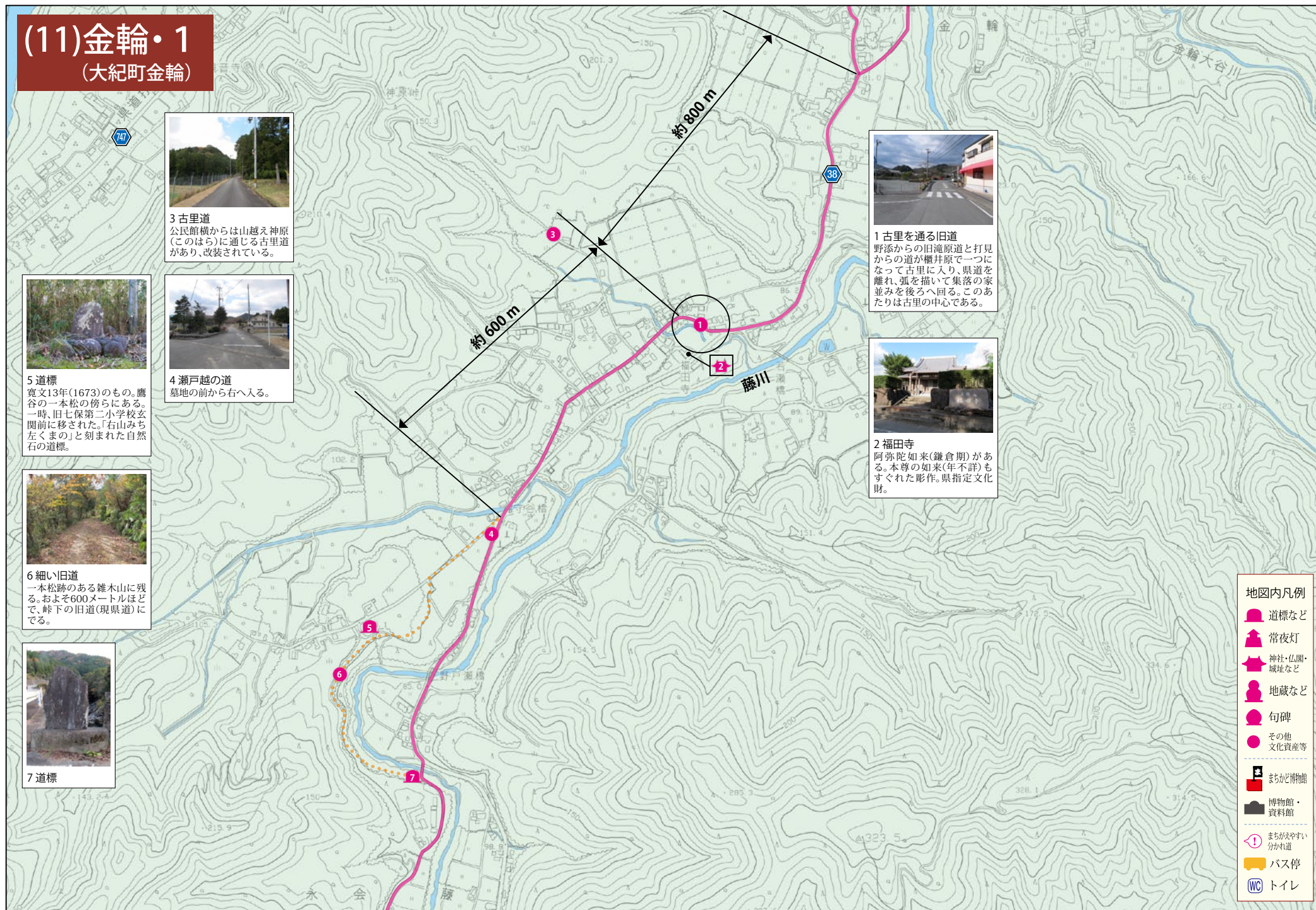
7 道標



1 古里を通る旧道
野添からの旧滝原道と打見
からの道が横井原で一つに
なって古里に入り、県道を
離れ、弧を描いて集落の家
並みを後ろへ回る。このあ
たりは古里の中心である。

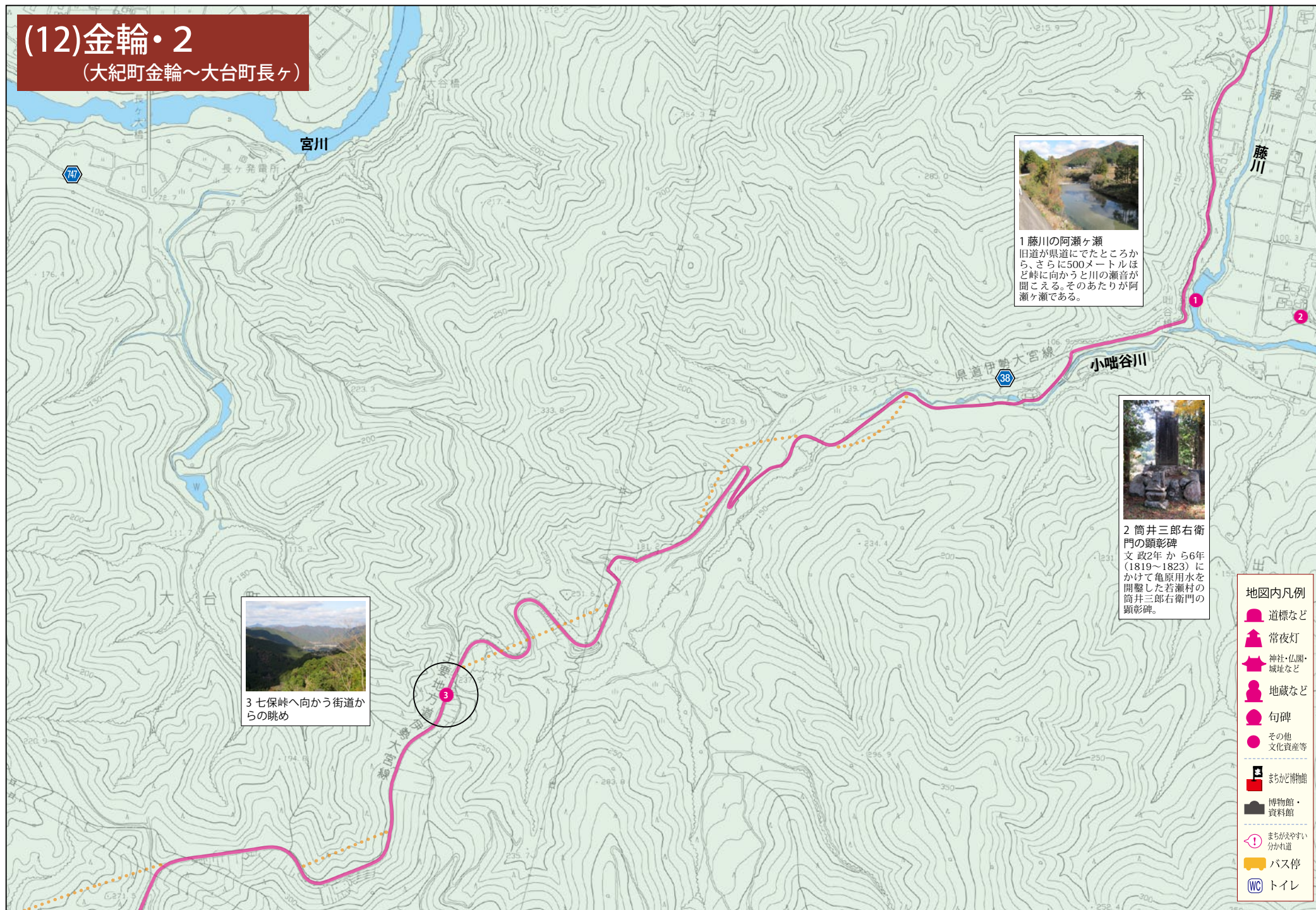


2 福田寺
阿弥陀如来(鎌倉期)があ
る。本尊の如来(年不詳)も
すぐれた彫作。県指定文化
財。



(12)金輪・2

(大紀町金輪～大台町長ヶ)



(14)下久具 (度会町下久具～川口)



3 道標
抜かれて防火用水とゴミ置き場の傍らに立てかけられている。「右 久具つの渡し」と刻まれている。



2 青面金剛と秋葉山常夜燈
海蔵寺の境内にある。



1 海蔵寺
かつて下久具にあった龍泉寺と慶雲庵の2寺が明治初年(1868)に廃された後、大正8年(1919)に鳥羽市神島町海蔵寺の寺号を譲り受けて復興した。



5 道標
「右 上久具田間當津道 左 山川矢村道」と刻まれている。



4 石神
常夜燈で石を祀っている。



14 神社
周囲の神社を合祀している。



12 石仏
古刹寺の境内にある。



11 三界萬雲の石碑
明治16年(1883)のもの。古刹寺の境内にある。



10 古刹寺
俗称五輪堂。皇太神宮御萱場の麓にある。中世の神宮山蓮華寺の末寺だった。昭和54年にここから室町時代の骨壺が出土している。



13 皇太神宮御萱場
この山は、明治の初めまでは六ヶ村入会山で、薪・柴草を刈っていた。また、神宮遷宮用の萱は、束ねて船積みにして寄進したという。



7 旧道
川口の集落へ続く細い道。



6 山神
傍らに庚申が祀られている。



9 石仏
川口の集落内の墓地にある。



8 山崎の大岩
川口の集落へ続く旧道の右側の山の中腹に張り出した大きな岩。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(15)栗原 (度会町川口～中之郷)



5 青面金剛
金龍庵の境内にある。



4 金龍庵



7 石仏・地藏
金龍庵の境内にある。コンクリート製の祠に8体ほどが一緒に祀られている。



6 石仏・地藏
金龍庵の境内にある。



8 三味墓地
墓石がなく、木の墓標が立つ墓地。金龍庵に隣接してある。



9 古川橋の下で川を渡る街道
旧街道は、集落の途中から川沿いを進む地道となり、ちょうど古川橋のすぐ下流で川を渡る。



1 道楽神石塔
栗原橋を渡った栗原の集落の中、その昔、道楽者の庄屋が物見遊山の旅に出て行方不明となり、その子孫が供養のために建てたとされている。県指定文化財。



2 小川郷神社
小川郷小学校の裏手。



3 常夜燈のさお
川口と柑子垣内の境にあった村境の常夜燈の竿。



約 650 m

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(16)駒ヶ野 (度会町中之郷～柳)



6 耕雲寺

駒ヶ野の集落の中、県道から外れて集落の中を通る街道は、かつての雰囲気を残している。



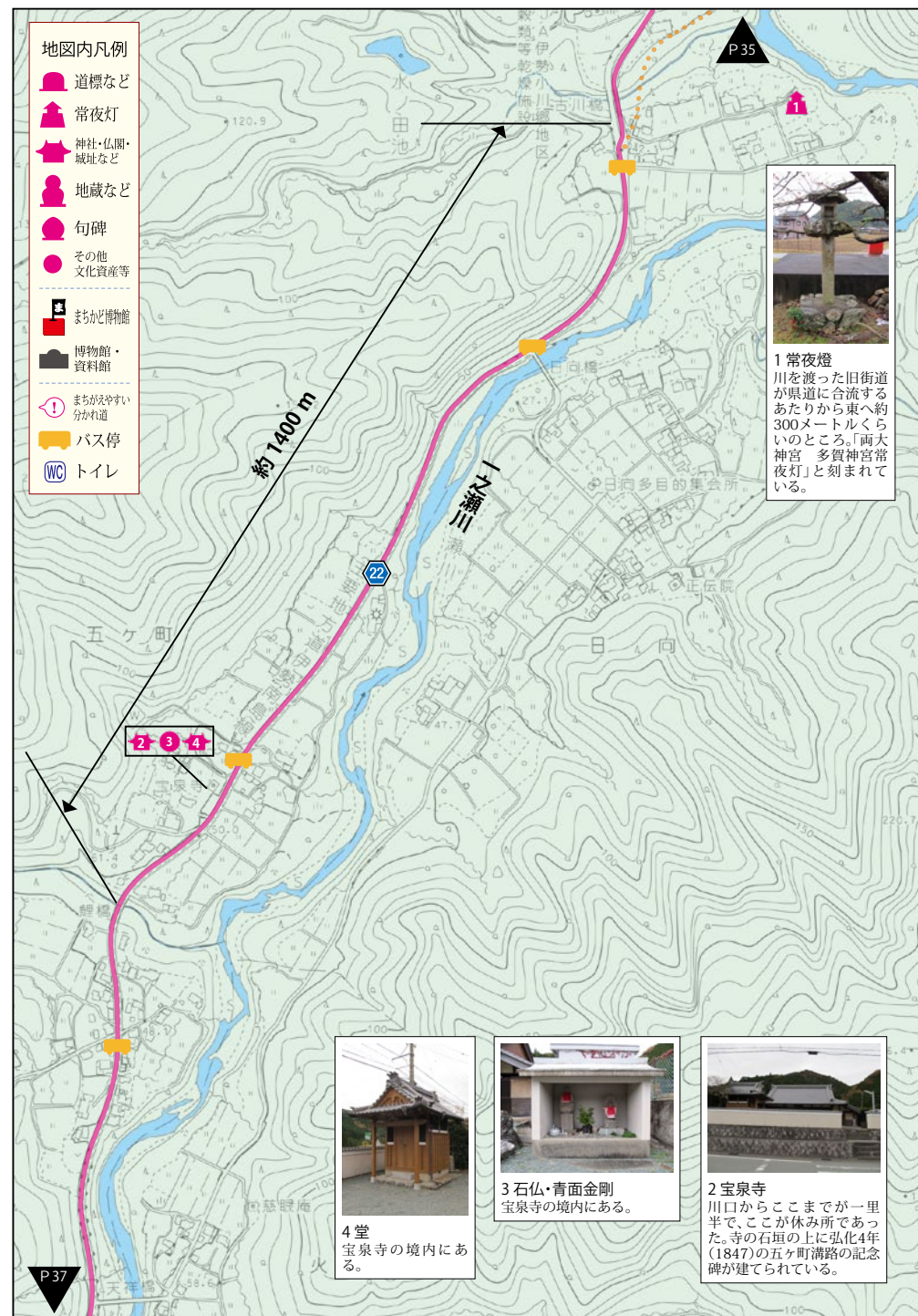
5 地蔵

火打石の集落に渡る天祥橋のたもと



地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



1 常夜燈

川を渡った旧街道が県道に合流するあたりから東へ約300メートルくらいのところ。「両大神宮 多賀神宮常夜灯」と刻まれている。



4 堂

宝泉寺の境内にある。



3 石仏・青面金剛

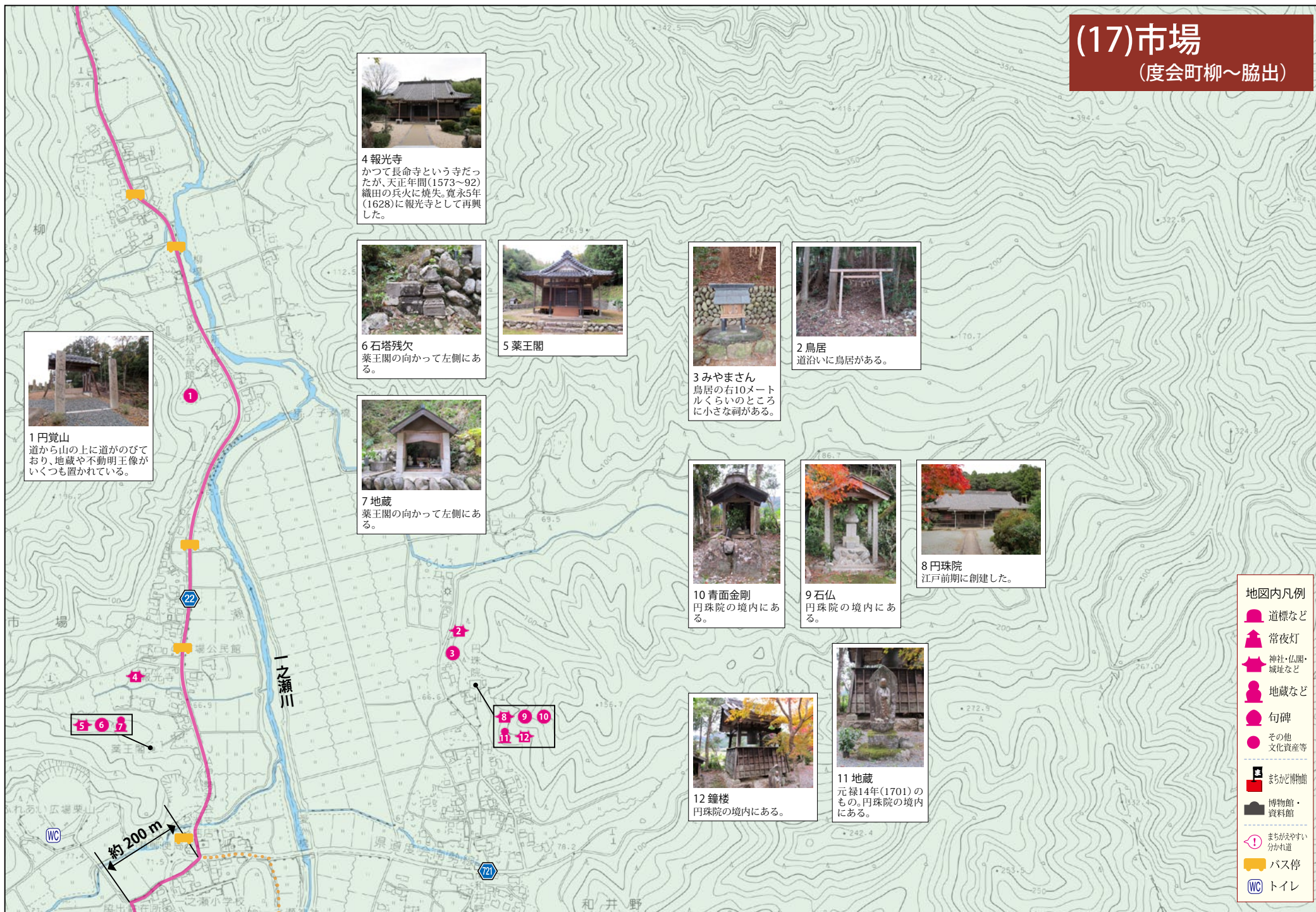
宝泉寺の境内にある。



2 宝泉寺

川口からここまでが一里半で、ここが休み所であった。寺の石垣の上に弘化4年(1847)の五ヶ町溝路の記念碑が建てられている。

(17)市場 (度会町柳～脇出)



- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(18)南中村 (度会町脇出～南中村)



4 廣福寺
慶安元年(1648)に福寿庵として創建。後に廣福寺と改めた。



2 一之瀬神社
一之瀬城跡にある。



1 一之瀬城跡
一之瀬川沿いにある城跡で、14世紀に南朝の忠臣・北畠親房が進出し、北朝の軍勢と戦ったという歴史がある。



3 宗良親王御遺跡の碑
一之瀬城跡にある。



9 青面金剛の祠
道沿いの階段を登った所にある。



8 宝篋印塔
明徳2年(1391)のもの。庵寺久富山妙音寺(くどめさんみょうおんじ)から移されたと伝えられる。



7 松
東明院の境内にある大きな松。



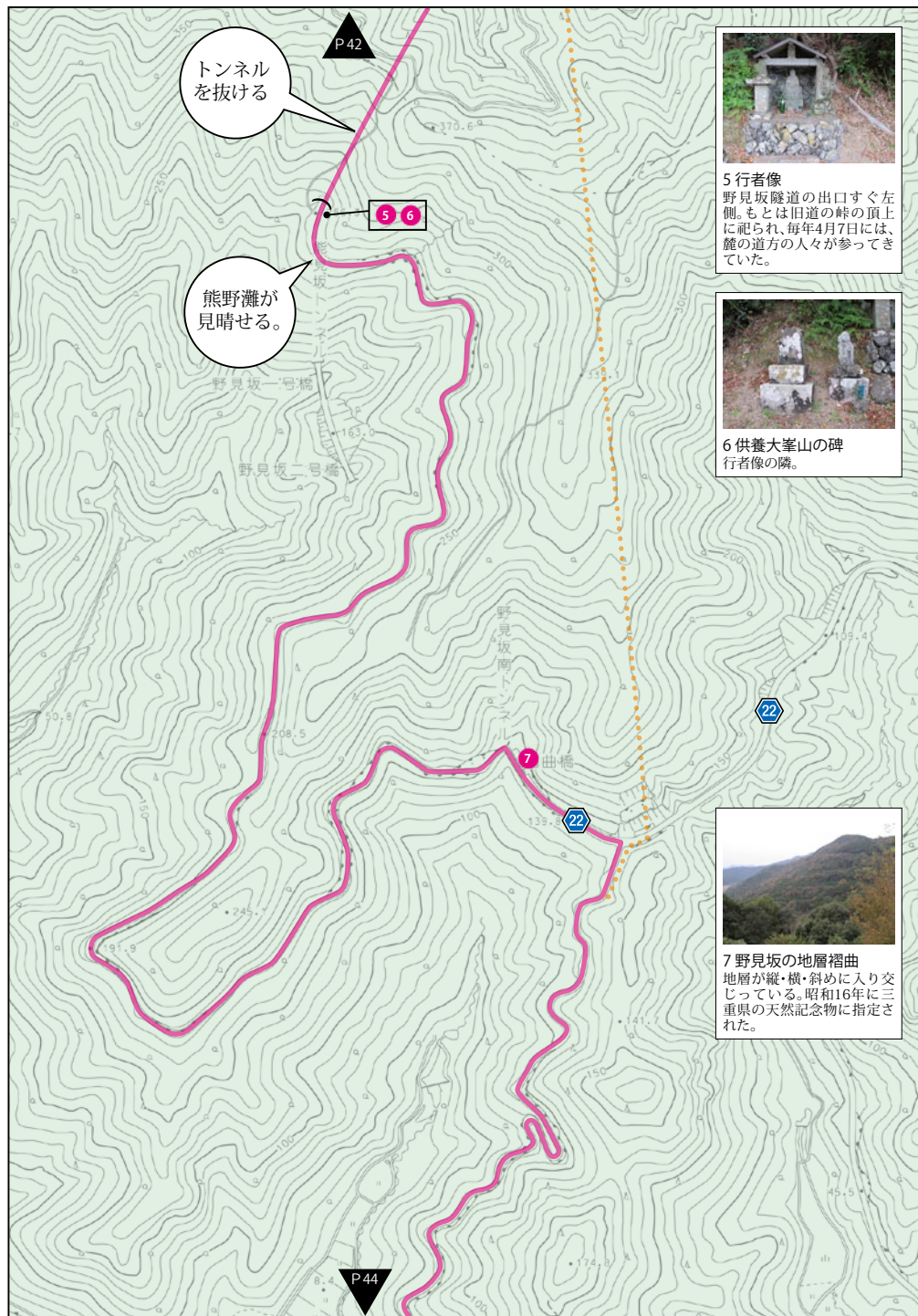
5 不動明王
旧道が県道に合流したところ。新しい不動明王である。



6 東明院
元禄6年(1693)に創建。境内に祠などがある。

新しい道ができ、旧梅橋は現在通れない。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



(20) 慥柄浦

(南伊勢町道方～慥柄浦)



5 宇久良神社
街道左側で郵便局の裏手のあたり。鶴倉の宮ともいう。かつては神社の戒壇の下に清水が湧き出していて、旅人が好んでこの清水を飲み休憩をとったという。



4 海蔵寺
慥柄浦(たしからうら)の海を望むことができる。



3 風呂屋川の古戦場跡
街道が海辺に出た霞浜は、享祿4年(1531)に海賊が襲来し、急を聞いた一之瀬城主愛洲弾上(の)命により帝釋勘解由右衛門等が立ち向かい、奮戦の甲斐なく戦死したという戦場跡。古戦場跡を示す看板が立っている。



7 海沿いに行く街道
慥柄浦(たしからうら)の港から、集落の中の道をはずれ、街道は海沿いに続いている。海の展望がすばらしい。道は消えかけながら国道の方へのびるが、国道に出ることはできない。



6 西光寺
創建は寛永9年(1632)以前にさかのぼるが年代は不詳。



1 浮島
かつて地震で崩れ落ちた山の一部であるという、池の中の小さな島で、以前は水量等によって浮き沈みしたという。県指定天然記念物。



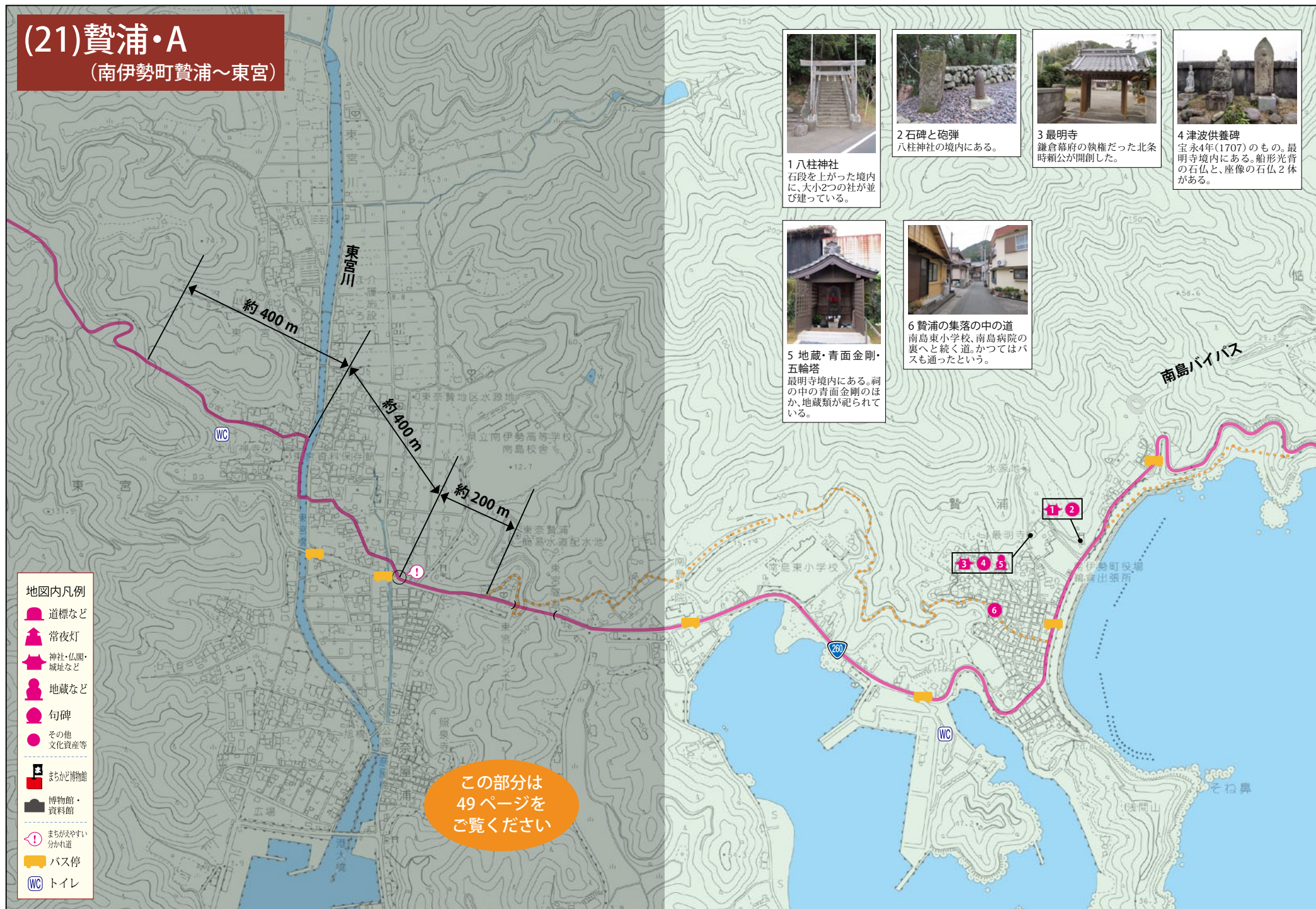
2 鳥居
浮島の近くにある。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(21) 贅浦・A

(南伊勢町贅浦～東宮)



(22)河内

(南伊勢町東宮～河内)



6 倭姫命の腰掛岩
大きな松の根元にある。伝説によると、滝原宮から杵杵を越えてやってきた倭姫命が長旅の疲れを癒そうとして腰掛けて休息された場所であるという。かつてこのあたりを赤崎嶺といっていたが、安政の津波で全戸が流失したという。



7 西国三十三番の石仏
奈津観音堂は、西国三十三ヶ所の札所にもなっており、地蔵などの史跡をめぐるコースもある。



3 街道から見た河内の集落
街道から河内の集落が見下ろせる。



4 仙宮神社
猿田彦命を祀る由緒ある神社。百人一首や天之宇受女命の絵画、六角宝幢形経筒など貴重な宝物が残されている。



5 岡野翁顕徳碑
明治から大正にかけて出水のたびに氾濫し、人家や田畑に大きな被害を与えていた河内川の大改修工事を行った岡野峰之助翁の偉徳をしのび、昭和28年に建立した。仙宮神社鳥居の隣。



2 地蔵
東宮坂トンネルの出口にある。



1 国道の上を通る街道
東宮坂トンネルへいたる街道は、国道の上を通っており、木立の向こうに国道をかいま見ることができる。道は残っているが、だいたい草木が茂り、通行は困難。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(23)神前浦・A (南伊勢町村山～神前浦)



3 祠と地藏
大通寺の境内にある。地藏は台座に三界萬霊と刻まれ、元文5年(1740)の銘が読みとれる。



2 永代常夜燈
大通寺の境内にある。



1 大通寺
南島西小学校の裏。

1 2 3

約 300 m

5 6 7



4 村山地蔵尊
村山から神前浦に渡る橋のたもと。石柱と石仏、地藏などが数体祀られている。



7 行者の祠
薬師山城跡にある。



6 石碑
薬師山城跡にある。



5 薬師山城跡
神前浦の集落の中心にある。かつて、南朝方の強力な武士団であった加藤氏の居城だったと伝えられる。石垣が残り、上からは家々が見渡せる。薬師堂が建てられている。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は
54・55 ページを
ご覧ください

(23)神前浦・B (南伊勢町村山～神前浦)

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

この部分は
52・53 ページを
ご覧ください



2 南無阿弥陀仏の石柱と石仏
地蔵院の境内にある。石仏のひとつに正治元年(1199)の銘が読みとれる。



1 地蔵院
銅で葺かれた門が眩しい。



3 石仏・青面金剛
地蔵院の境内にある。石仏のひとつに宝永8年(1711)の銘が読みとれる。



4 神前神社



6 石神
地蔵のさらに奥、「照姫眼神」「大若小若龍王」と刻んだ石を祀る。常夜燈(新しい)には真言宗龍王院と書いてある。



5 地蔵
神前浦の集落の奥。五輪塔の残欠もいくつか見られる。



8 地蔵
与崎の鼻を回り、方座浦へ通じる道はかつての国道でもあった。途中に地蔵が祀られ、花も供えられている。



7 与崎の鼻
神前浦につき出た岬で、「与崎の鼻」と呼ばれている。灯台が立つ。

(24)方座浦

(南伊勢町方座浦～小方竈)



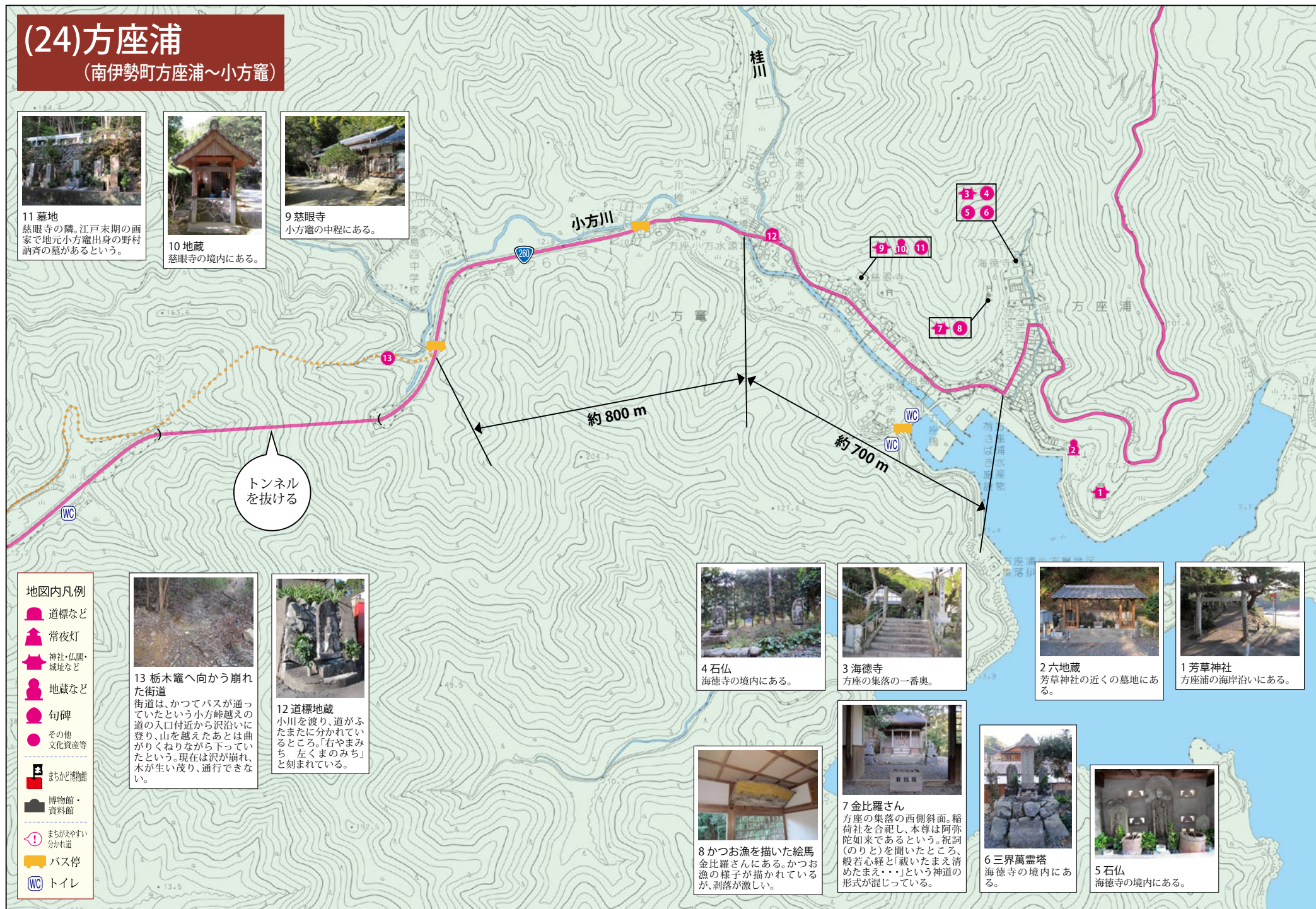
11 墓地
慈眼寺の隣。江戸末期の画家で地元小方竈出身の野村訥斎の墓があるという。



10 地藏
慈眼寺の境内にある。



9 慈眼寺
小方竈の中程にある。



地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがしやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



13 板木竈へ向かう崩れた街道
街道は、かつてバスが通っていたという小方峠越えの道の入口付近から沢沿いに登り、山を越えたあとは曲がりくねりながら下っていたという。現在は沢が崩れ、木が生い茂り、通行できない。



12 道標地藏
小川を渡り、道がふたまたに分かれているところ。「右やまみち 左くまのみち」と刻まれている。



4 石仏
海徳寺の境内にある。



3 海徳寺
方座の集落の一番奥。



2 六地藏
芳草神社の近くの墓地にある。



1 芳草神社
方座浦の海岸沿いにある。



8 かつお漁を描いた絵馬
金比羅さんにある。かつお漁の様子が描かれているが、剥落が激しい。



7 金比羅さん
方座の集落の西側斜面。稲荷社を合祀し、本尊は阿弥陀如来であるという。祝詞(のりと)を聞いたところ、般若心経と「祓いたまえ 清めたまえ...」という神道の形式が混じっている。



6 三界萬霊塔
海徳寺の境内にある。



5 石仏
海徳寺の境内にある。

(25)古和浦

(南伊勢町栃木竈～古和浦)



9 天保飢饉供養碑
天保8年(1837)の飢饉を供養するため嘉永6年(1853)に建てられた。甘露寺の門前にある。丸い形をしており、仏像が線彫りされている。



8 津波供養碑
宝永4年(1707)の津波供養のため元文4年(1739)に建てられた。甘露寺の門前にある。



7 甘露寺
平安期の「大般若経」、南北朝時代に北畠氏と結びつき、活躍した古和一族の様子が記されている「古和文書」が残り、いずれも県指定文化財。



11 八柱神社
軍忠碑から100メートルのところ。



10 古和一族の軍忠碑
古和一族は、南北朝時代に北畠氏に味方し、古和の村全体の人々が一致団結して戦ったという。昭和9年に建てられた。

約 300 m

海を見晴すベンチがある。



3 八幡神社
小方峠越えの道が国道に合流するあたりにある。



2 延命地藏
かつてバスが通っていたという小方峠越えの道にある。もとは違う場所にあったという。



1 小方竈からの道
かつて田んぼか何かだったらしい石垣の側を通る。この奥を「地藏谷」という。



6 塞の神
栃木トンネルを迂回する古い道沿いにある。



5 石仏
猷珠寺の建物の前にある。



4 猷珠寺
栃木竈の集落の奥、鉄筋風の建物になっている。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(26)新桑竈 (南伊勢町棚橋竈～新桑竈)



2 神社



1 長泉寺
門前に大きなイチョウの木がある。

迂回路(大紀町錦へ)

棚橋川

約1200 m

新桑川

伊勢町

新桑竈



7 地蔵
寛政元年(1789)のもの。寛政7年の地蔵の隣。「紀州熊野錦」「寛政元年」と刻まれている。



6 地蔵
寛政7年(1795)のもの。石の祠に祀られており、「にしきみち」「寛政七年」と刻まれている。



5 石の井戸
宝暦年間(1751～1763)のもの。切石を組み合わせた井戸枠には、宝暦年間の路が刻まれている。



4 八幡神社
新桑竈の集落に入ったところ。



3 行者像と地蔵
崖を小さく削ったところに祀られている。

地図内凡例

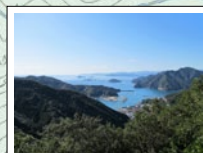
- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(27) 錦・1 (大紀町錦)

姫越山迂回ルート



迂回路(南伊勢町棚橋竈へ)



1 姫越山登山道からの展望



2 姫偲ぶ親水公園
姫越山を越えた街道が錦へ降りてきたところに造られた避難所兼公園。東屋や広場の他、公園の名前の由来である姫塚・爺塚の伝説を記した碑が立てられている。

約 1300 m

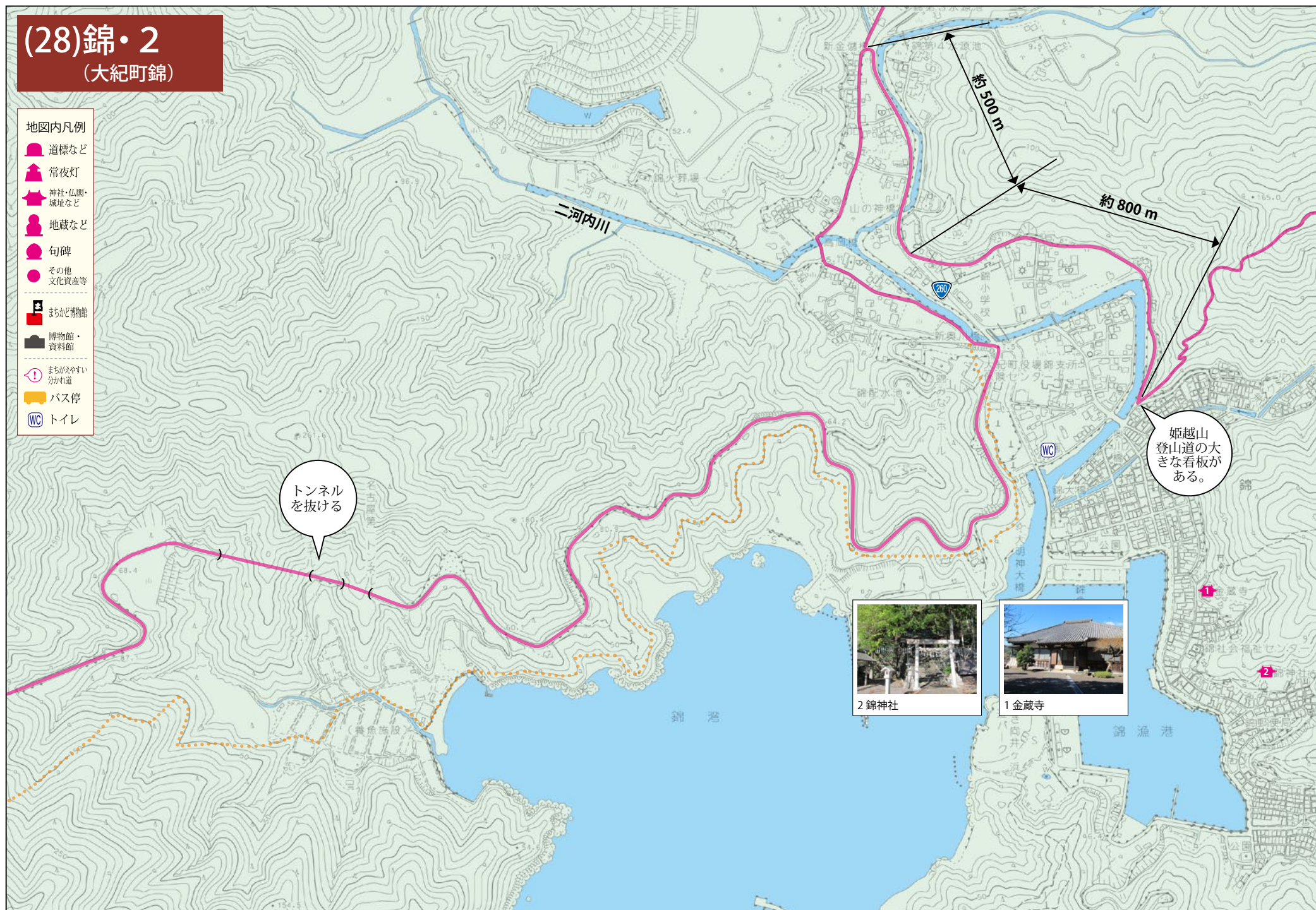
地図内凡例

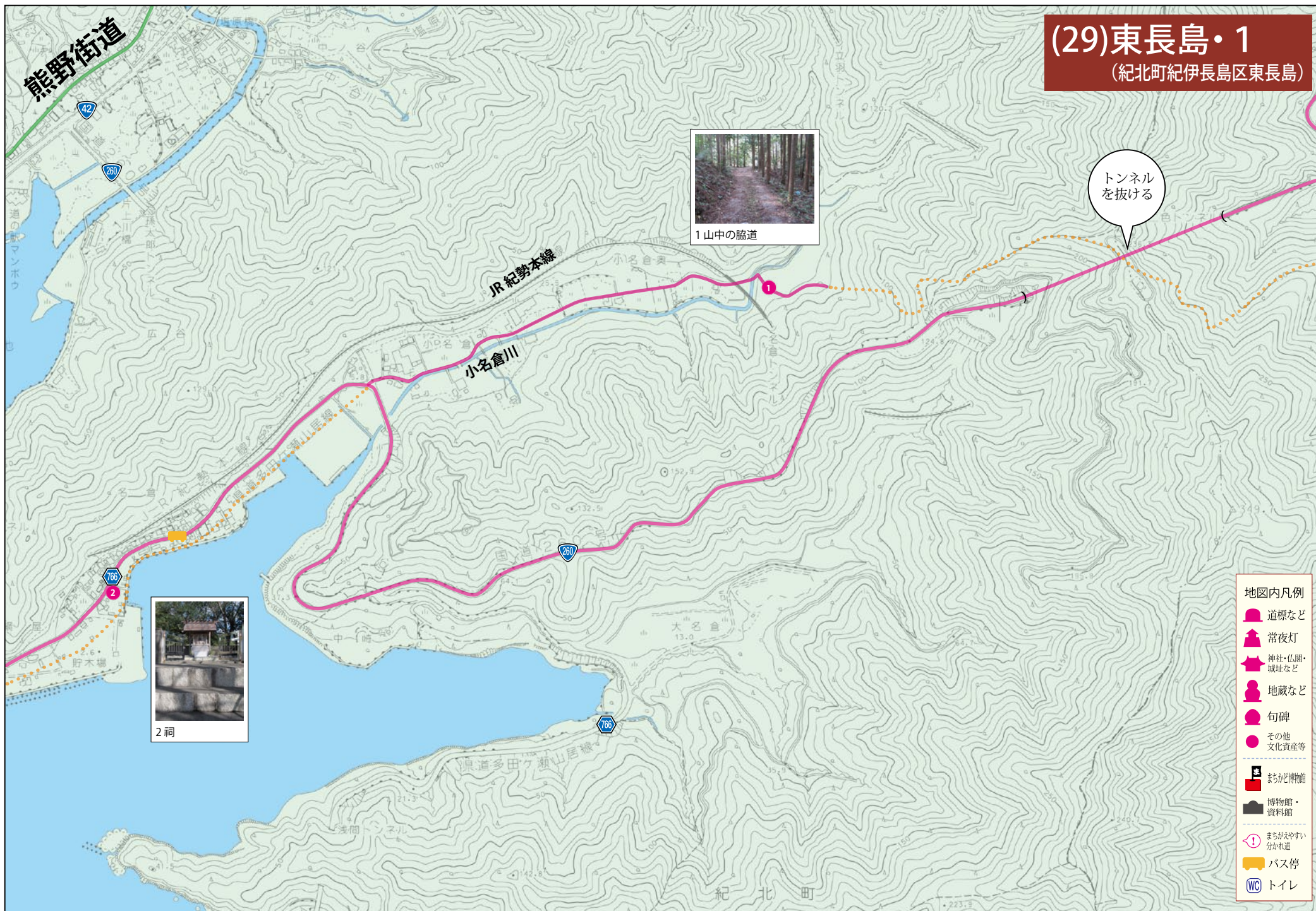
- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(28) 錦・2 (大紀町錦)

地図内凡例

-  道標など
-  常夜灯
-  神社・仏閣・城址など
-  地蔵など
-  句碑
-  その他文化資産等
-  まちかど博物館
-  博物館・資料館
-  まちがえやすい分かれ道
-  バス停
-  トイレ





Handwriting practice lines on page 71. The page contains 25 horizontal dotted lines for writing practice.

Handwriting practice lines on page 70. The page contains 25 horizontal dotted lines for writing practice.

このウォーキングマップは、三重県の街道を訪れる人や、地域に暮らす人誰もが街道や周辺の文化資産等に興味を持ち、触れることができるように作成しました。

場所によっては旧街道のルート自体が道で無くなっていたり、現在は通行できない箇所もあります。

その場合は迂回路等をご案内しており、史実に沿わない部分もありますが、あくまで旧街道を基本に周辺に残る文化や、新しく発展した文化などをご紹介します、散策を目的にご利用いただくものとご理解ください。

地図上のマークの位置は目安で、実際の位置と若干異なる場合があります、隣接する資産等はを並べて表示している場合がありますので、ご注意ください。

また、マップに掲載されている「まちかど博物館」や「博物館・資料館等」につきましては、開館日や開館時間等が決められており、予約が必要な場合もありますので、事前にご確認・ご連絡の上、訪問していただきますようお願いいたします。

なお、お気づきの点等がありましたら、ご指摘等いただければ幸いです。

みえの歴史街道の詳細情報やまちかど博物館、博物館・資料館の連絡先や概要、句碑の詳細情報などは下記ホームページからご覧いただけます。

「三重の文化」 ホームページ
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/>

- 掲載されている文化資産やまちかど博物館等の情報は平成24年2月時点のものです。
- この地図は三重県自治会館組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2006三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図10,000）」を使用し、調整したものです。（承認番号：三自治地第195号）本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とします。
- バス停・トイレの情報は「平成22年度生活密着型地理空間情報整備緊急雇用創出事業」で、平成22年10月から23年1月にかけて調査したものです。



みえ歴史街道

～みえ歴史街道構想～

三重の「街道」の持つ魅力を、
観光資源としてだけでなく、
豊かでうるおいのある生活や
文化を創造していく資源として活かし、

1

住む人、訪れる人の両方が
満足できるような地域づくり

2

未来へ向けて様々な
新しい交流が生まれる地域づくり

3

各地域の個性を磨きながら、
広域的に一体感のある地域づくり

を目指す三重県の構想。

(お問い合わせ先)

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
三重県環境生活部文化振興課

電話：059-224-2233 e-mail:bunka@pref.mie.jp